

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立玉島高等学校			
実践者等		難波 周子		実践日	令和4年5月30日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		現代の国語 ポスト・プライバシー			
対象生徒(学年等)		1年 普通科			
育成を目指す資質・能力		☐ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☒ 学びに向かう力・人間性等			
分類	授 業 中	☒ クラウドやアプリの活用 ☒ デジタルデータの保存 ☒ 思考やデータの可視化			
		☒ データの共有や共同編集 ☒ 対話を充実させる活用 ☐ 思考を促す活用			
		☐ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☐ 効率化や省力化			
		☐ その他()			
家庭学習	☒ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☐ 補習・定着				
実践の内容					
【授業展開(導入部分)】 (1) Jamboardを課題として配布する。 クラスを4人×10班に分け、班で一つの付箋を使用するよう指示。 (2) 「SNSのメリットとデメリット」について班で意見を出させる。 自分たちで使用して感じてしたこと、ニュースなどで目にしたことをもとに意見を書く。メリットは黄色付箋・デメリットは青付箋で色分けし、生徒に分類させる(図1 SNSのメリット)。 (3) 意見をクラス全体で共有する。 教室前方のスクリーンに写し、班の意見をクラスの生徒全体で共有する。「ネット社会では他人に成り代わることは容易である」というような意見から、「ネットとアイデンティティ」について、教材を用いながら考えていくことを伝える。 (4) 文章を音読し、読解の活動に入る。 【ICT活用のメリット・デメリット】 日常生活に関わる身近な問題を生徒自身に考えさせ共有する導入はよく行われるが、ICTを活用することによって間延びすることなく、教材本文に入ることができたように思う。 ただ現代の国語全体を通して、今回のような導入・振り返り・まとめの活動など、断片的な活用に留まっており、常に効果的に活用できているとは言えない現状があり、ICTの活用について一層の研究が必要である。					
【本時と家庭学習との連動】 (本時前) ・予め「SNS」や「ネット社会」について考えていくことを示しておく。 (本時後) ・フォームを使用して本時の振り返りを行う。授業の内容を踏まえた小テストと、授業の中での学びで「なるほど!」「わからなかった」と思うことを自由記述する欄を作成し、次の授業で内容を共有する(図2)。 Jamboardの活動によって、「SNS上での成り代わりが可能」という危険性に気づくことができたという意見も見られた。					

SNSのメリット【5組】黄色ふせん

1班 遠距離で連絡ができる。会えなくても話せる。

2班 すぐに気になる情報が知れる。

3班 少し連絡ができる。知り合いとつながる。あつちからでなくてもいい。知らない人にもつながる。

4班 簡単に情報が手に入る。最新の情報が手に入る。世界の人の情報がわかる。動画などのサービスを受けられる。

5班 欲しい情報が手に入る。すぐ情報が得られる。いつでも見れる。

6班 知らない情報でもすぐ見れる。

7班 最新の情報が簡単に手に入る。離れていても連絡が取り合える。暇つぶし。

8班 簡単に情報が手に入る。最新の情報が手に入る。簡単にやり取りができる。伝言板に代わる。すぐ返信できる。暇つぶし。面白い。流行りがわかる。絵が広がる。

9班 情報が簡単に手に入る。連絡が取り合える。

10班 最新の情報が簡単に手に入る。連絡が取り合える。

11班 どこでもすぐに連絡できる。わからないことを調べられる。たくさん情報を集めることができる。調べることができる。連絡や会話を続けることができる。悪い話を聞かなくて済む。

12班 何でも、どこでも、すぐ、連絡が取れる。色々な情報が手に入る。世界中の人と繋がれる。8班

質問 回答 確定 合計: 0

第一・二段落で「なるほど」と思ったこと、疑問に思ったこと
32 件の回答

自由にアバターが作れること

いま本当に思われているのは匿名な環境で書けることよりも個人情報を見られることで、今の自分は匿名性よりもデータ管理によって守られるようになりつつあるということ。

私生活によって自分を証明するのは管理された個人情報と書いてあって、なりすまそうかができるから便利なんじゃないかなと思った。大人になっても近所の人と友人を大喧嘩にしたい。

実際とは違う年齢や性別を定えられるということ

実際に身近に起こりうる話だから少し怖くなった。でも、近代と比べて自分が自由にバーチャルの世界では作り上げることができるというところは、なるほど凄いな。と思った。

自分のことをきちんと知っている人がいないと自分のことが証明できないんだな〜、確かに「対面の人間関係」は大変だと思った。

犯罪者の行動で、対面の人間関係がほくなく、ほぼインターネットでしか証明がない(証言できない)人を狙って、印を全て偽造した。全くの別人を作り上げることが「Deepfake」が上陸された時代で考えられたい所

(図2) 授業振り返りフォーム